

令和8年度全国学力・学習状況調査 遠別町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:12人 中学校数:1校、生徒数:13人

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

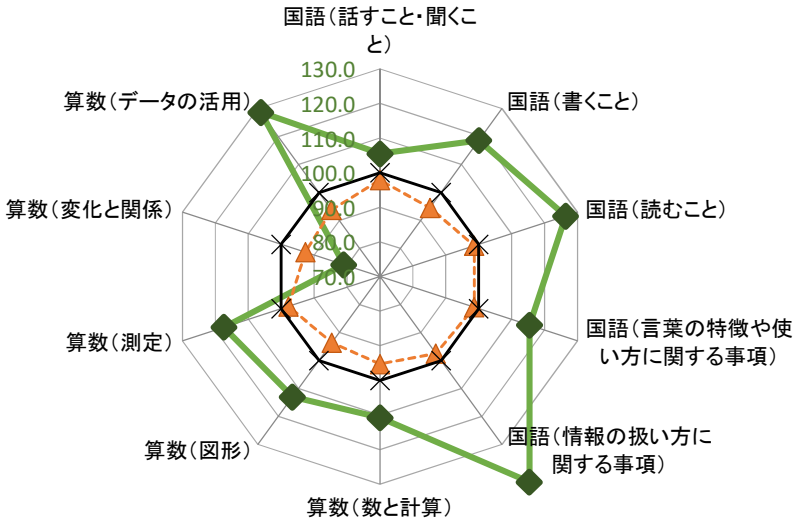
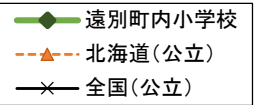
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

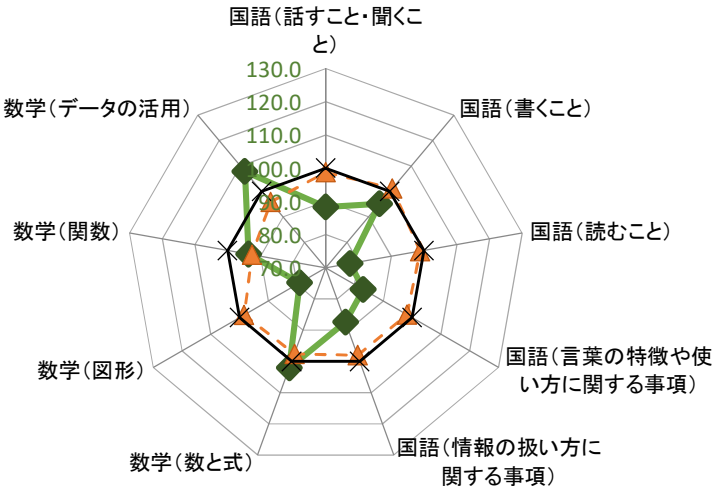
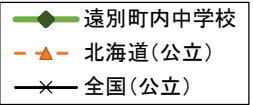
※中学校英語は4技能(聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと)の平均IRTスコア

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
遠別町	72	63	55	55	466
北海道(公立)	59.6	53.6	63.3	55.0	489
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

小学校



中学校

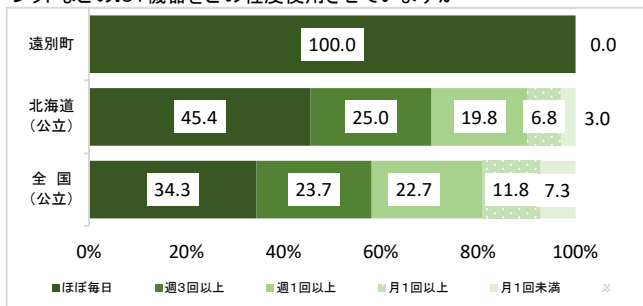


○ 質問調査の状況

小学校

<学校質問>

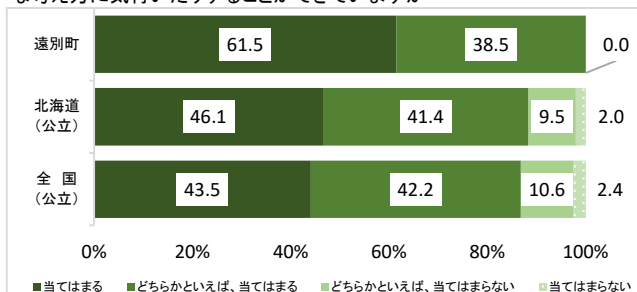
児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

<児童質問>

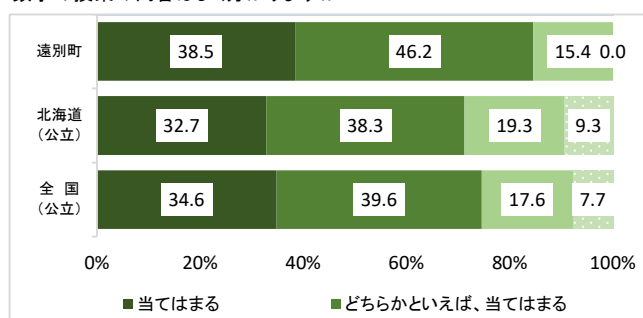
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



中学校

<生徒質問>

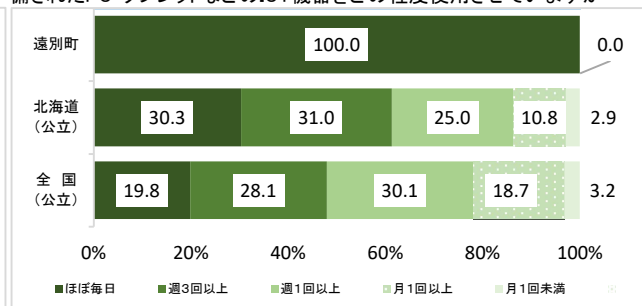
数学の授業の内容はよく分かりますか



中学校

<学校質問>

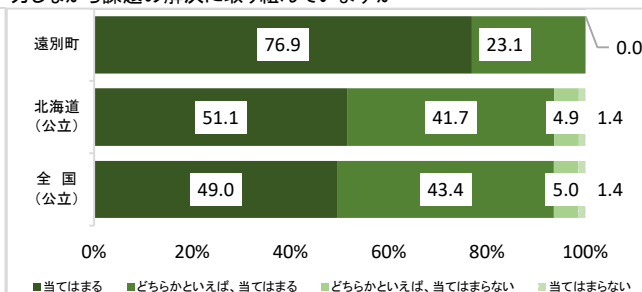
生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

<生徒質問>

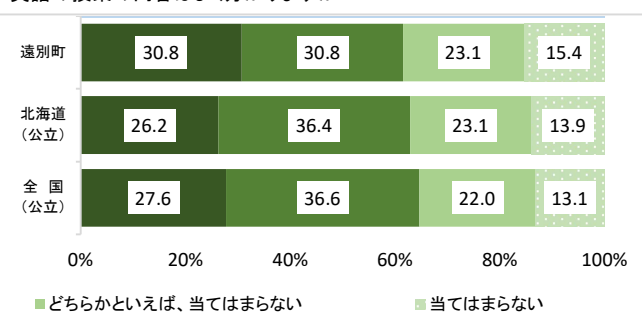
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

<生徒質問>

英語の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- ・ 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているという認識の高さに好影響を及ぼしたと考えられる。
- ・ 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるという、認識の高さに好影響を及ぼしたと考えられる。
- ・ 中学校において、英語の授業の内容が分かると回答した生徒が、数学に比べて明らかに低いことは、英語の表現スキルにおいて、「書く力」が不足していることが要因と考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・ 言語活動が単に活動に終始することがないように、事実を正確に理解した上で、他者と考えを伝えあうことなどにより、自分の考えを深めることを重視した授業改善の推進
- ・ 1人1台端末を活用した教育ソフトによる、個の理解度に応じて学習を進めることができる環境の整備